

2010 年度共同利用・共同研究課題申請書（新規）

申請者(主査)： 稗田乃

1. 共同利用・共同研究課題名	
和文	アフリカ諸言語のドキュメンテーション
英文	Language Documentation of African Languages
2. 研究期間	2010 年度～ 2012 年度 (3 年間計画)
3. 共同利用・共同研究課題を実施する専任教員	(氏名) 稗田乃 (役割分担) 共同研究の推進、研究会の運営
(同上)	(氏名) 椎野若菜 (役割分担) 研究成果の広報
(同上)	(氏名) (役割分担)
4. 共同研究員採択数	18 名
5. 共同研究員に求められる役割分担	アフリカ諸言語のドキュメンテーションに関わる研究推進と成果公開
6. 共同利用・共同研究課題の概要 (400 字程度) (※要覧等広報の際にも利用・掲載します。)	
<p>フィールドワークを主要な手段にしてアフリカ諸言語のドキュメンテーションに従事する国内研究者を中心に、アフリカ諸言語のドキュメンテーションのあるべき姿を明らかにするため、国外の研究者を含む共同研究を実施する。フィールドワークをつうじて研究者がアフリカ諸言語のドキュメンテーションを行うときに経験する様々な問題を議論する。言語ドキュメンテーションは、音声、形式、意味の領域といった言語内の領域と言語が話される背景にある社会や言語が伝える文化といった言語外の領域を含む。アフリカ諸言語のドキュメンテーションに従事する国内研究者ネットワークの構築と若手研究者育成をおこなうとともに、ケルン大学アフリカ学研究所等 AA 研と学術協定を結んでいる海外研究機関を含む、言語ドキュメンテーションを行っている海外の研究機関と連携して、アフリカ諸言語のドキュメンテーションのための国際的研究者ネットワークを構築する。</p>	
7. 研究の目的 (400 字程度)	
<p>地球上から多くの言語が消滅しようとしている。アフリカ大陸もその例にもれない。少なくない数のアフリカ諸言語が絶滅する危機に瀕している。現在は危機に瀕してはなくても、急速なグローバリズムの発達から、消滅する恐れのある言語はさらに多く存在する。地球上から失われる前に言語のドキュメンテーションを行うことが緊急の課題として国際的研究機関に求められている。本申請共同研究の目的は、言語が話される背景となる社会や言語がつたえる文化の言語外の領域を含み、音声、形式、意味の領域といった言語内の領域において必要とされる言語のドキュメンテーションとは何かを明らかにすることである。アフリカ諸語のドキュメンテーションの事例からそれを明らかにする。</p>	

8. 研究の意義、特に共同利用・共同研究として展開することの意義（400字程度）

言語が急速に地球上から失われ、言語の多様性が失われようとしている現在、言語のドキュメンテーションは、国際研究機関に課せられた緊急の課題である。国内のアフリカ諸語のドキュメンテーションに従事する研究者は、様々な研究機関に所属しており、研究環境も様々である。様々な困難に直面している。アフリカ諸語のドキュメンテーションに従事する国内研究者のネットワークを構築することにより、さらにAA研が学術協定を結んでいる海外研究機関を中心とする国際研究者ネットワークと連携することで、国内研究者のアフリカ諸語のドキュメンテーションを刺激し、若手研究者を育成することができる。

9. 共同利用・共同研究として期待される研究成果、および共同利用・共同研究効果（400字程度）

国内の様々な研究機関に所属しているアフリカ諸語のドキュメンテーションに従事する研究者が共同研究をすすめる国内研究者ネットワークを構築することができる。国内の様々な研究機関に所属しているため、研究成果を発表し公開する機会が十分に与えられていない国内研究者に、研究の発表と公開の機会を用意することができる。また、AA研が学術協定を結んでいる海外研究機関を含む国際研究者ネットワークと連携することにより、国内研究者ネットワークを刺激し、若手研究者の育成が期待できる。言語ドキュメンテーションの成果として期待されるものは、言語の文法書、辞書、テキスト、ならびに、社会言語学的記述、言語人類学的記述である。これらを出版することが従来からAA研が果たしてきた機能であるが、共同研究をつうじてAA研出版物としてアフリカ諸語のドキュメンテーションの成果物が期待できる。

10. 研究の実施計画（800字程度）

2010年-2012年

3年間を通じて、年平均3回の研究会を開催する。研究会にはアフリカ諸語のドキュメンテーションに従事する国内研究者が参加するのみならず、AA研招へい教授が参加する。共同研究に参加する国内研究者がそれぞれ組織する海外学術調査と連携し、個々のメンバーがフィールドワークにより収集した資料にもとづいてアフリカ諸語のドキュメンテーションするにあたって直面する諸問題を討議する。個々のメンバーがフィールドワークにより収集した資料に基づく研究発表を検討し討議し、アフリカ諸語のドキュメンテーションのあるべき姿を探る。

2010年

AA研で予定されている言語ドキュメンテーションの国際会議に参加する。

2011年

ナイル諸語の言語ドキュメンテーションの国際会議をAA研で開催することを予定する。

11. 研究成果の公開計画（200字程度）

アフリカ諸語の辞書あるいは語彙集、アフリカ諸語の文法書を、語彙集 (Bantu Vocabulary Series, Asian & African Lexicon) と文法スケッチシリーズの継続として出版することをめざす。また、言語ドキュメンテーションに関連する理論的な成果は、共同利用・共同研究課題出版物として成果公開する。

12. 応募者に求める提出書類

アフリカ諸語のドキュメンテーションに関する最近の著作 (1点)、あるいは、それにかわる報告 (400字程度)